

新みかわ

発行
随時

NO一九〇号 2014年10月号

日本共産党三川町委員会

☎(六八)二七五五



九月定例議会報告・田中あきら 一般質問
補正予算・ふるさと応援寄付金1億3500万(4千181件)
保育緊急確保事業費2576万など

三川町九月定例議会が、九月四日から十日まで開かれ、総額1億5348万円余の補正予算が全会一致で可決され、平成26年度の予算総額は38億2683万4千円余りとなりました。

補正予算(歳出の主なもの)は、三川町ふるさと応援寄付金寄付者謝礼8757万2千円、多面的機能支払交付金事業1676万5千円などが認められました。特別会計の補正は介護保険、農業集落排水、下水道が追加され、承認されました。又、平成25年度一般会計決算など5つの特別会計決算など、5つの特別会計決算が承認されました。

一般質問は夜間議会で行われ、町野昌弘、志田徳久、梅津博、佐藤正治、田中晃の5議員が行いました。

条例等審議では、

税条例の一部を改正する条例と、下水道条例等の一部を改正する条例は、主に庶民の足となっている軽自動車の税が7200円から10800円に増税になり、下水道料金も一般用現行23立方m3607円が3897円となることから、田中議員は反対しました。

又、子ども・子育て支援法に基づき出された特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を制定する条例は、保育園の入所選考は児童福祉法第24条1項に基づき町が行うことを明記すべきと反対しました。家庭的保育事業等の整備および運営基準を制定する

田中あきら議員の主な決算質問と一般質問

田中 神花ニュータウンはじめ新興団地内の防犯灯増設は。

総務課長 防犯灯の設置は、あくまでも町内会の要望に応える形で対応している。町内会の中に設置した防犯灯の電気料は町内会の負担であり、これをふまえて町内会の要望に添えていく。

田中 国民健康保険で短期被保者証交付は39世帯、資格証明書交付は6世帯となっている。今後の対応は。

町民課長 平成24年度と比較し、資格証明書交付は増えているが、その年、その年での国民健康保険税滞納審査会で慎重審議の

結果である。今後も慎重審議を重ねていく。
田中 正職員を増やして、町民が主人公の親切な役所づくりは。
町長 効率で質の高いコンパクトな行政と、町民生活上、協働のまちづくりを進める行財政改革推進プランに基づき運営している。職員数は、このプランの定員適正化計画で管理しているが、行政需要は増大していることから組織機構や事務事業の見直し、民間委託等の推進をしていく。来庁者に親切・丁寧な対応に心がけるよう指導している。
田中 条例は、一般職員の定数は



兼務7人を含め106人と規定されている現在の状況からして離脱しているのでは。

総務課長 条例の人数は人数として、今、三川町を運営していく上で、職員数は大きな課題であるが、プランに基づく定員適正化計画で職員管理を進めていく。

田中 平成27年度に職員91人の計画。現在90人だが定員適正化の根拠は。

総務課長 業務の効率化を図り91人で運営できる組織機構をめざす考えである。親切な役所づくりは大切な事だが、その手法として正職員の増の選択肢は持っていない。(裏へ)